

● **わたしたちの事業** ● これまで蓄積した豊富なノウハウや、他機関とのネットワークを有効に活用し、多方面からサポートしています。

▶ 研修・学習・啓発事業

女性のキャリア形成をサポートする「ハッピーキャリアプログラム」や男性向けの「イクメン写真コンテスト」など、年齢・性別・ライフステージに合わせてさまざまな研修を開催しています。



お仕事を終った女性の放課後サロン

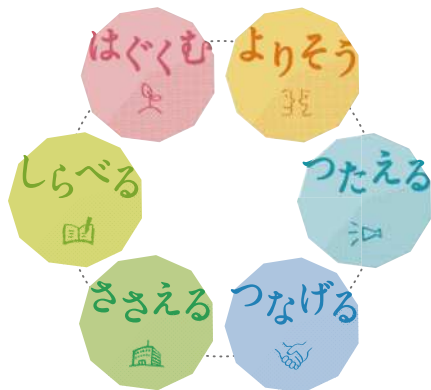
▶ 調査研究事業

「大阪市男女共同参画に関する市民意識調査」や「非正規シングルの社会的支援に向けたニーズ調査」などの調査研究を行っています。



▶ 相談事業

人間関係(職場・家庭)、DV、子育ての不安やキャリア相談などさまざまな悩みに相談員がきめ細やかに応じます。



▶ 情報の収集・創造・発信事業

「男女共同参画情報誌 クレオ」や「ニュースレター」、ホームページによって情報を発信。



▶ 市民活動推進事業

「起業」「子育て」「地域」など、同じテーマに関心のある市民が集まり意見交換する「交流の場」を設けています。



つながりママフェス

▶ 施設管理運営事業

各自治体から依頼を受け、8つの施設を管理・運営しています。



クレオ大阪中央	八尾市男女共同参画センター
クレオ大阪子育て館	大阪市立都島区民センター
クレオ大阪西・こども文化センター	四條畷市市民総合センター
クレオ大阪南	四條畷市立公民館
クレオ大阪東	

社内で研修をご提案します オーダーメイドセミナー

主な研修テーマ

- ◆ 職場のハラスメントをなくすために
- ◆ ハラスメント相談窓口担当者研修
- ◆ ワーク・ライフ・バランス
- ◆ 育児復帰支援について
- ◆ 職場のメンタルヘルス、ストレスマネジメント対策
- ◆ デートDVについて ほか

お客様の声

- ・ハラスメント全般に内容をアレンジいただき、次回はもう少しその先もと思う。当社で実施できるため、忙しい人も受講できてよかった。(製造業・研修担当者)
- ・言葉は聞いたことがあっても、具体的にどのようなことなのか、どうすればいいか知らなかったなので勉強になった。部下・パート・アルバイトを含め、指導する際にも、活かしていこうと思う。(サービス業・研修受講者)
- ・DVの種類がわかってよかった。人に対する態度を改めて考えようと思った。(高校2年男子)

ご要望に応じたプログラムをご提案し、各テーマの専門の講師(カウンセラー・研究者・弁護士など)の手配も含め、研修をコーディネートいたします。費用は、1時間32,400円～(税込)です。

ご依頼から
実施までの流れ

ご依頼

ご依頼内容に
応じてお打合せ

ご依頼内容に
応じてお打合せ

ご依頼内容に
応じてお打合せ

ご依頼内容に
応じてお打合せ

ご依頼内容に
応じてお打合せ



大阪市男女いきいき財団 NEWS

発行 大阪市男女いきいき財団 正式名称 一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央内
TEL: 06-7656-9040 FAX: 06-7656-9045 http://www.danjo.osaka.jp/

大阪市男女いきいき財団 NEWS

ニュース

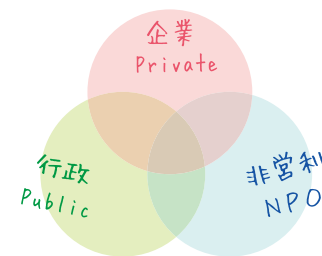
vol.37
2019.6

社会課題の解決に向けて トライセクターリーダーシップセミナー

トライセクターリーダーとは、企業・行政・非営利などの垣根を越えて活躍する人材のこと。社会課題の解決に向けては、ひとつのセクターだけでは、できることに限界があり、それぞれのセクターの強みを生かしながら協働することが必要です。

SDGsに取り組む企業・団体は増えていますが、その達成には、これまで以上に国やセクターの垣根を越えた連携、パートナーシップが重視されています。持続的な発展のためには、従来のやり方にとらわれない新しい発想・行動力が求められているのです。

当財団でも、セクターを越えた連携を生むヒントを学ぶ場として、2017年度より「トライセクターリーダーシップセミナー」を実施しています。



トライセクターリーダーシップセミナーの目的

- ・ 社会への視野を広げる
- ・ 他のセクターを知り、ネットワークを広げる
- ・ 意見や価値観が異なる人との出会い

参加者の声

- ・ 目の前の相手も持っている潜在能力をひきだせる人がリーダーシップをもった人ということに納得できました。色々なツールを教えて頂き、たいへんためになりました。
- ・ 様々な分野で活動されている人と交流しとても勉強になりました。世界や政治にももっと目を向けて、自分ができることから世の中に貢献していこうと思いました。
- ・ 企業の方とお会いすることが今までほとんどなかったので、みなさんのアイデアをいろいろ聞けておもしろかったです。



トライセクターで大阪・関西の女性の未来を創る 大阪 女性のみらい創造会議

6月13日にホテルモントレグラスミア大阪で「大阪女性のみらい創造会議」を開催します。企業・行政・非営利など様々な分野のリーダーが参加し、女性の活躍に関してそれぞれの立場から発言・交流することにより、よりよい大阪・関西の実現をめざすものです。

多方面から趣旨へのご賛同やご支援・ご助言をいただきました。大阪・関西の未来を共に創っていくためのアクションを起こす第一歩にしたいと思っています。



topic1 家庭という密室で起きる暴力 複雑に絡み合う児童虐待とDV

児童虐待による痛ましい死亡事故の報道が続いています。1月の千葉県野田市の小学4年の栗原心愛さんの虐待事件では、両親が傷害容疑で逮捕されました。逮捕当時、母親が、以前からDV被害の相談を自治体にしていたことがわかり、DVの支配下に置かれた親が、子どもを守ったり、助けを求めることの難しさが指摘されていました。3月には、父親は傷害致死罪と傷害罪、母親は傷害ほう助罪で起訴されました。

5月の母親の初公判の裁判では、母親が、父親から女兒への暴力を止めようとしたことがあるものの、自らもDVに遭い、家庭内で支配的な立場にあった父親（夫）に逆らえなかった状況が浮かびあがりました。

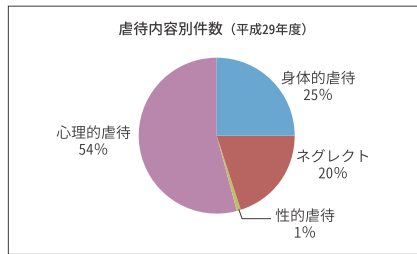
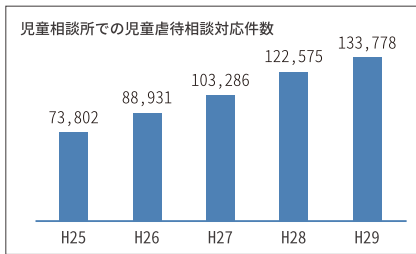
「家庭という密室で起きる暴力」は、児童虐待とDVが複雑に絡み合い、力と支配の関係において、被害者が加害者の立場になってしまうことが起こるのです。

厚生労働省は、児童虐待防止法の改正にむけて、児童相談所とDVの相談機関（配偶者暴力相談支援センター）の連携強化を図り、児童虐待の早期発見につなげるとしています。児童虐待とDVの両方の視点を持った支援をすすめていくことが求められています。

【データでみる児童虐待とDV 面前DVの増加】

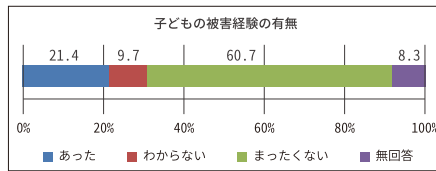
平成29年度に全国210か所の児童相談所での児童虐待相談対応件数は、133,778件と増加の一途です。

主な要因は「心理的虐待に係る相談対応件数の増加」「警察等からの通告の増加」です。平成28年度と比較して児童虐待相談対応件数が大幅に増加した自治体からの聞き取りでは、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力がある事案（面前DV）について、警察からの通告が増加したためと報告されています。（厚生労働省 速報値）



DV家庭における子どもの被害経験

内閣府の平成29年度「男女間における暴力に関する調査」では、これまでに配偶者から被害を受けたことがあり、子どもがいる人（590人）に、子どもが18歳になるまでの間に配偶者から被害を受けたことがあるかを聞いたところ、「あった」との回答が21.4%となっています。被害経験の内容は、「心理的虐待」が15.1%と最も多く、次いで「身体的虐待」（10.8%）などとなっています。



topic2 身近に起きています！デートDV（恋人間の暴力）

デートDVとは、交際中のカップルの間で起こる暴力のことです。「暴力」には殴る、蹴るといった身体的な暴力のほかに、精神的な暴力、経済的な暴力、性的な暴力があります。平成29年度の内閣府調査では、交際相手からこれらの暴力のいずれかの被害を受けたことがある人は女性が21.4%、男性が11.5%。5人に1人の女性が、暴力を受けたことがあると回答しているのです。

当財団では、この問題を広く知っていただくためにリーフレットを作成しました。総合学習の授業などにもぜひご活用ください。

お申込みお問合せは当財団（tel.06-7656-9040）まで。



「デートDVのない素敵な関係をつくろう」

topic3 非正規シングル女性の課題把握からエンパワメントへ ー調査報告ー

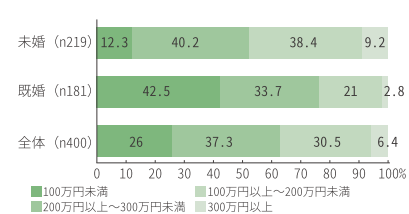
非正規シングル女性をめぐる課題は多様であり、当事者が抱える不安も小さくありません。しかし、現在の状況からステージを一段ずつ上げていくこと、つまり「ワンステップアップ」をめざすことで、いくつかの不安や不満は少しでも取り除けることもあります。非正規シングル女性への公共政策の支援には、焦らず少しでもエンパワメントすることから始めることが大切であるといえます。

当財団が指定管理者として運営するクレオ大阪中央研究室での調査結果は次の通りでした。当財団は関係機関と連携し、継続的に取り組んでまいります。

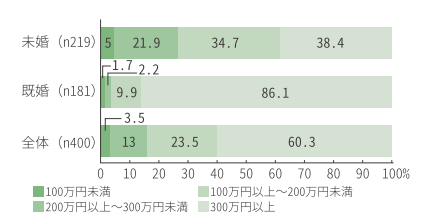
【結果の概要】平成30年度「非正規雇用で働くシングル女性の実態調査（大阪市）」より

- ・未婚の5割以上が「個人年収200万未満」であり、世帯収入でみてもその3割近くが「200万未満」。現在の暮らしは「家族」で支え合うことで成り立っている。
- ・未婚の3割が非正規雇用に「やむを得ず選択した働き方」（不本意）と回答。
- ・非正規雇用に「自ら望んで選択した働き方」と回答するも、「雇ってもらいやすかったから」「前職で体調を崩したから」等、潜在的には「不本意」と思われる回答もみられる。

個人年収



世帯年収



topic4 「イコール・ペイ・デイ」（同じ賃金を手にする日）は2019年5月13日（月）

女性の平均賃金が男性より低いのは残念ながら世界共通です。日本では、男性の賃金を100とすると、女性の賃金は73%となっています。2018年1月1日に男女が働き始めて、男性が2018年の1年間で手にした金額を、女性は2019年5月13日まで働いてようやく手にできます。つまり、2018年の場合、日本における「イコール・ペイ・デイ」＝「同じ賃金を手にする日」は5月13日月曜日ということになります。若い時は差が少なくても、その差はどんどん開きます。

B P W Internationalという女性団体が、賃金格差があることを様々な立場の方に理解してもらうために、世界各地で「イコール・ペイ・デイ」キャンペーンに取り組んでおられ、先日B P W大阪クラブと当財団と意見交換を行いました。社会課題の解決に向けて、まずは多くの方にこの問題を知ってもらえればと思っています。



topic5 地域での男女共同参画の輪を広げよう

今年度も大阪市より「男女共同参画普及啓発事業」を受託しました。区民まつりなどの地域での催しに出席やクレオ大阪での催し、街頭啓発など、みなさまのすぐ近くに伺います。城東区からは「子育てするなら城東区」という子育てをテーマにまちづくりを推進する事業を受託しました。財団ならではの「男女共同参画のまちづくりの視点」で、楽しく、ためになるイベントで地域を盛り上げていきます！